

平成 24 年 2 月 吉日

## 原子力災害における放射線被ばくを考える(岐阜)

開催日：平成 24 年 3 月 17 日(土)

時 間：14 時 00 分 ～ 18 時 00 分 (開場：13 時 30 分より)

場 所：岐阜大学医学部附属病院 1 階 多目的ホール  
岐阜市柳戸 1 - 1

定 員：100 名(参加費：無料)

主 催：日本放射線技術学会中部部会防護研究会・アンギオ研究会

後 援：岐阜県放射線技師会

協 賛：日本保健物理学会，日本放射線安全管理学会

趣 旨：東日本大震災に伴う福島第一原発事故から一年を経た現在も生活圏の放射性物質による汚染が報道され，一般市民の間に放射線被ばくに対する不安が広がっている．医療現場では患者の被ばくに対する不安や質問に答える機会が増えている．しかしながら，我々診療放射線技師の間でも被ばくに対する誤解と混乱が生ずる場合があり，被ばくの分類，形態および単位などの基礎的な事項を再確認する必要がある．

事故以降，関連学会が提供している情報を整理し，原子力災害の最新の知見から事故時の一般市民の不安を理解する．また，医療現場における患者の不安にどう対応するか学ぶ．

### —プログラム—

開会挨拶 14:00-14:05

岐阜大学医学部附属病院 横山龍二郎

基調講演 14:05-15:15

座長：金沢大学附属病院 能登 公也

「保健物理学会の福島原子力災害における支援活動」(仮題) (60 分)

藤田保健衛生大学大学院 下 道國 教授

教育講演 15:20-17:30

座長：金沢大学附属病院 飯田 泰治

(1) 「原発事故から 1 年 —福島から学ぶ放射線防護—」(60 分)

セントメディカル・アソシエイツ LLC

国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 広藤 喜章

休憩 10 分

(2) 「論文「リスクコミュニケーション再考」を読み解く」(20 分)

名古屋第二赤十字病院 有賀 英司

(3) 「放射線防護でのリスクコミュニケーション」(40 分)

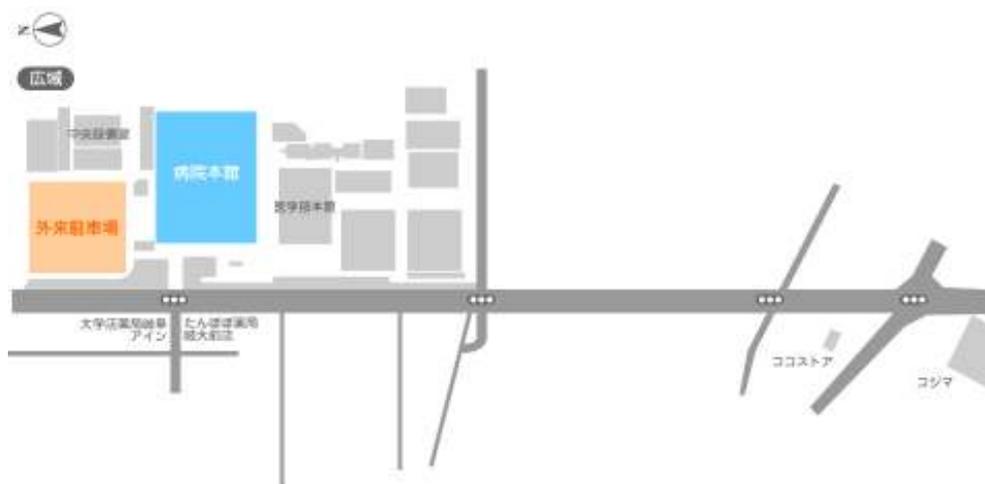
浜松医科大学医学部附属病院 竹井 泰孝

総合討論 17:30-18:00

座長：金沢大学附属病院 飯田 泰治

金沢大学附属病院 能登 公也

## 会場案内



車でお越しの際は外来駐車場に停めて下さい。  
駐車券は受付で無料処理します。

交通機関をご利用の方は、岐阜大学医学部附属病院のホームページにてご確認下さい。

<http://hosp.gifu-u.ac.jp/guide/access.html>

## 病院本館 1階平面図

